

第13回

文学的文章(3)

恋とあこがれ

——日本の文学史・文学作品の知識

例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

ねらい

- ・恋とあこがれについて知る。
- ・登場人物の気持ちと、気持ちの変化をとらえる。
- ・日本の文学史や主要な文学作品についての知識を身につける。

学習の要点

○物語文では、私たちが実際に体験したことがない感情や感覚について問われることがある。これは広い意味での「他者理解」を目的としたものだと考えられる。人を恋する気持ち(恋心)や、だれかにあこがれる気持ちもそのひとつである。

①恋心・淡い恋愛感情をとらえる

- ・人間関係をとらえる。
- ・友人関係から、恋に発展する気持ちの変化をとらえる。
- ↓恋を自覚している場合の心情や、恋心に気づかない相手の気持ちなどにも注意して読む必要がある。

②あこがれを理解する

- ・大人・先輩・有名人などに対するあこがれの感情。
- ・自分もあこがれの対象のようになりたいという心情。
- ↓あこがれる理由が書かれている場合は、物語の重要な要素になることが多い。

③登場人物の気持ちと、気持ちの変化をとらえる

- ・恋心とあこがれが厳密に区別されることなく描かれることもある。
- ・登場人物の気持ちを言動から読み解き、その変化をとらえることが大切である。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 『モモ』 …ミヒヤエル・エンデの書いた、時間どろぼうと、ぬすまれた
 時間を人間にとりもどしてくれたモモの不思議な物語。
 (工藤純子「ぬすまれた時間と金色のパン」より)

問一

線①「まっすぐに見た」とありますが、このときの和弥の気持ちを説明した次の文のA・Bにあてはまる言葉を、文章中からそれぞれ九字で書きぬいて答えなさい。
 大切なことは、Aなので、Bをする決心をしている。

B	A
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

問二

線②「モモみたいだ」とありますが、ここから、和弥にとって春香はどのような存在だとわかりますか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。
 ア マイペースで思いがけないことをする存在。
 イ 自分にとって大切なことを教えてくれる存在。
 ウ 架空の人物のようにとらえどころがない存在。
 エ いつも自分のことを考えてくれる頼れる存在。

問三

線③「春香が取り出したパン」とありますが、それは和弥にとってどのようなパンでしたか。文章中の言葉を使って簡潔に答えなさい。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) たぬきち先生：文芸部の顧問の先生。

(伊藤たかみ「ぼくらのセイキマツ」より)

部誌：文芸部が発行している冊子。

十年前の自分に手紙を書くやつ：ぼくたちが引退前最後に発行する部誌に、それぞれが十年前の自分に手紙を書くよう、たぬきち先生が決めていた。

アンゴルモアの大王：ノストラダムスは一九九九年の七月に、アンゴル

モア大王が空からやって来て地球を滅ぼすと予言した。

ヒロ姉ちゃんのダンナさん：ヒロの姉のダンナは、他に好きな人ができたと行ってヒロの姉と離婚し、すぐに再婚した。

熱射病：熱中症のこと。

問一 — 線①「ぼくは笑えなかった」とありますが、その理由を

説明した次の文のA、B、Cにあてはまる言葉を、文章からAは八字、Bは七字、Cは六字で書きぬいて答えなさい。

「十年前の私へ」に、A「とちゃんといえと書くつもりだったが、たぬきち先生が言うように、それは本当はBだと感じ、書くのがCから。」

C	B	A

問二 — にふさわしい言葉を次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア うれしそうな
- イ 悲しそうな
- ウ 苦しそうな
- エ 心配そうな

問三 — 線③「そういうの」とありますが、どういうことですか。

「一緒」という言葉を使ってわかりやすく説明しなさい。

問四

この文章から読み取れる「ぼく」の人物像として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の性格を自分でよく理解していて、なかなか思ったことを行動に移せないところがある人物。
- イ 自分のことを素直に表現することが苦手で、つい相手に対して思っていないような行動をしてしまう人物。
- ウ 自分よりも周囲の人のことを考えてしまうあまり、自分の思うような行動ができない人物。
- エ 自分の感情を大切にし、相手にも自分の気持ちをしっかりと伝えようと努める誠実な人物。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 一輝：彩加里の幼なじみ。

(片川優子「わたしがここにいる理由」より)

問一 — 線①「珍しく言いよんだ」とありますが、その理由を

説明した次の文の A・B にあてはまる言葉を、文章中からAは六字、Bは四字で書きぬいて答えなさい。

彩加里にどうして A かと聞かれたが、 B は覚えてい
 るが、好きな理由は自分でもわかっていないから。

A

問二 — 線②「前田キャプテンの姿を目で追ってしまふ」とあり

ますが、その理由を説明した次の文の□にあてはまる言葉を文
 章中の言葉を使って説明しなさい。

クララが蓮を好きになったのと同じように、前田キャプテン
 の□を見て気になっているから。

B

問三 * にはあてはまる言葉として最もふさわしいものを次の中

から選び、記号で答えなさい。

ア 悲しそう イ 恥ずかしそう

ウ うれしそう エ さみしそう

--

問四 — 線③「好きというのがくいつか来るのだろうか」とあり

ますが、このときの彩加里の気持ちとして最もふさわしいもの
 を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア クララの話聞いてもだれかを好きになる気持ちがわから
 ず、自分にも好きな人ができるかどうかいぶかしんでいる。

イ 今はまだ、前田キャプテンのことが気になっていること
 が、好きになるということにつながるのかよくわからないで
 いる。

ウ クララが蓮を好きな気持ちと、自分の前田キャプテンに対
 する気持ちが同じであることがわかり、すっきりしている。

エ クララの話から、自分の好きな人が前田キャプテンだと
 いうことがはつきりし、照れくさい気持ちになっている。

--

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□問一 — 線①「僕たちより、ずっと賢い」について、次の問いに

答えなさい。

(1) 何が、「僕たちより、……賢い」というのですか。文章中から一語で書きぬいて答えなさい。

(2) なぜお兄さんはそれが賢いと思っっているのですか。「くから。」に続く形で、文章中から二十字以内で書きぬいて答えなさい。

人物像

から。

□問二

— 線②「お兄さんの言葉が……聞き分けられるかもしれない」とありますが、「僕」がこのように考えたのはなぜですか。文章中の言葉を使って答えなさい。

人物像

□問三

— 線③「鳥小屋」とありますが、長い年月の間に鳥小屋はどのように変わりましたか。変わらないところと変わったところが分かるように文章中の言葉を使って、三十字以内で書きなさい。

□問四

この文章から読み取れる兄と弟の関係として、最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

人物関係

ア 何を考えているかよくわからないとされる兄の言葉がわかる弟は少しほこらしい。

イ まだ物事のわからない幼い弟に、兄が優しく教えている。

ウ 弟は兄を尊敬し、失望させたくないとがんばっている。

エ 兄は無邪気で疑うことを知らない弟をうらやましく思っている。

●日本の主な文学作品と時代

大和・奈良時代

〔歴史書〕

古事記(太安万侶)：我が国最古の書物。

日本書紀(舍人親王ら)

〔歌集〕

万葉集(大伴家持らが編集。約四五〇〇首。)

：現存する日本最古の歌集。素朴さ、力強さが特徴。

平安時代

〔歌集〕

古今和歌集(紀貫之・紀友則らが編集。約一一〇〇首。)

〔物語〕

竹取物語(作者未詳)：仮名で書かれた最古の物語。

源氏物語(紫式部)：物語の最高峰。「ものあはれ」が基調。

〔日記〕

土佐日記(紀貫之)：女性が書いた形をとり、仮名表記。

〔随筆〕

枕草子(清少納言)：「をかし」で示される美意識が基調。

鎌倉時代

〔歌集〕

新古今和歌集(藤原定家らが編集。約一九八〇首。)

〔軍記〕

平家物語：琵琶法師が琵琶に合わせて語り広めた。

〔随筆〕

方丈記(鴨長明)・徒然草(兼好法師)

室町時代

〔軍記〕

太平記

〔能楽論〕

風姿花伝(世阿弥)

江戸時代

〔俳諧〕

小林一茶「おらが春」・与謝蕪村「夜半楽」

〔紀行文〕

松尾芭蕉「おくのほそ道」

〔浮世草子〕井原西鶴「日本永代蔵」「世間胸算用」など

〔浄瑠璃〕近松門左衛門「曾根崎心中」

〔小説〕十返舎一九「東海道中膝栗毛」

滝沢(曲亭)馬琴「南総里見八犬伝」

明治時代以後

〔小説〕樋口一葉「たけくらべ」

伊藤左千夫「野菊の墓」

森鷗外「舞姫」「山椒大夫」「高瀬舟」

夏目漱石「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「こころ」

芥川龍之介「鼻」「羅生門」「杜子春」「地獄変」

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」「セロ弾きのゴーシュ」

太宰治「走れメロス」「人間失格」

川端康成「雪国」「伊豆の踊子」

堀辰雄「風立ちぬ」

三島由紀夫「金閣寺」

正岡子規「歌よみに与ふる書」

与謝野晶子「みだれ髪」

石川啄木「一握の砂」

高村光太郎「智恵子抄」

問一 次の作者と作品の組み合わせがまちがっているものを二つ選

び、記号で答えなさい。

ア 夏目漱石―「山椒大夫」

イ 森鷗外―「舞姫」

ウ 川端康成―「雪国」

エ 太宰治―「人間失格」

オ 芥川龍之介―「金閣寺」

江戸時代	室町時代	鎌倉時代	平安時代	大和・奈良時代
一六八八年日本永代蔵(井原西鶴) 一七〇三年曾根崎心中 (9) 一七七六年雨月物語(上田秋成) 一八〇二年から東海道中膝栗毛 (十返舎一九) 一八一四年から (10) (滝沢馬琴)	一三七〇年ごろ太平記 一四〇〇年ごろ風姿花伝(世阿弥) 一七〇二年おくのほそ道 (11) 一七七七年夜半楽(与謝蕪村) 一八五二年おらが春 (12)	十二世紀前半 (6) 一二二二年 (7) (鴨長明) 一三三〇年ごろ徒然草 (8)	十一世紀初め源氏物語 (3) 十二世紀初め今昔物語集 十一世紀初め枕草子 (5) 九三五年ごろ土佐日記(紀貫之) 九〇五年ごろ (4) (紀貫之ら編)	七二二年古事記(太安万侶) 七一三年以後風土記 七二〇年 (1) (舎人親王) 八世紀後半 (2) (大伴家持ら編) 九〇五年ごろ (4) (紀貫之ら編)

問一 次の文学史年表の (1) (2) にあてはまる作品名・作者名を、後のアから選り、それぞれ記号で答えなさい。

歴史書・物語・軍記

詩歌・日記・紀行文・随筆・その他

問二 次の作品の作者名を、後のアから選り、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 方丈記
- イ 平家物語
- ウ 南総里見八犬伝
- エ 古今和歌集
- オ 古事記伝
- カ 日本書紀
- キ 万葉集
- ク 兼好法師
- ケ 紫式部
- コ 松尾芭蕉
- サ 清少納言
- シ 近松門左衛門
- ス 小林一茶

- | | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (6) | (7) | (8) | (9) | (10) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (11) | (12) | | | |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | | | |

- (1) たけくらべ
- (2) 野菊の墓
- (3) 黒い雨
- (4) みだれ髪
- (5) 舞姫
- (6) 銀河鉄道の夜
- (7) 一握の砂
- (8) 羅生門
- (9) 人間失格
- (10) こころ

- ア 石川啄木
- イ 伊藤左千夫
- ウ 井伏鱒二
- エ 太宰治
- オ 樋口一葉
- カ 宮沢賢治
- キ 夏目漱石
- ク 森鷗外
- ケ 芥川龍之介
- コ 与謝野晶子

- | | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (6) | (7) | (8) | (9) | (10) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

問四 次の作者名と関係のある作品をそれぞれ後から選び、記号で

答えなさい。

- (1) 太宰治
 ア 門 イ 走れメロス
 ウ トロッコ エ 父帰る
- (2) 清少納言
 ア 方丈記 イ 草枕
 ウ 枕草子 エ 徒然草
- (3) 藤原定家
 ア 万葉集 イ 古今和歌集
 ウ 新古今和歌集 エ 金槐和歌集
- (4) 志賀直哉
 ア 山椒魚 イ 風姿花伝
 ウ 羅生門 エ 暗夜行路
- (5) 小林一茶
 ア おくのほそ道 イ おらが春
 ウ 土佐日記 エ 雨月物語
- (6) 紫式部
 ア 源氏物語 イ 平家物語
 ウ 古事記 エ 風土記
- (7) 宮沢賢治
 ア よだかの星 イ ごんぎつね
 ウ 浦島太郎 エ たけくらべ

(1)	<input type="checkbox"/>
(2)	<input type="checkbox"/>
(3)	<input type="checkbox"/>
(4)	<input type="checkbox"/>
(5)	<input type="checkbox"/>
(6)	<input type="checkbox"/>
(7)	<input type="checkbox"/>

問五 次の作品の種類を、それぞれ後から選び、記号で答えなさい。

(同じ記号は二度使えません。)

- (1) 万葉集 (2) 徒然草 (3) 源氏物語
 (4) 土佐日記 (5) 奥の細道 (6) 曾根崎心中
 (7) 平家物語

- ア 歌集 イ 物語 ウ 随筆 エ 日記文学
 オ 軍記 カ 紀行文 キ 浄瑠璃

(1)	<input type="checkbox"/>
(2)	<input type="checkbox"/>
(3)	<input type="checkbox"/>
(4)	<input type="checkbox"/>
(5)	<input type="checkbox"/>
(6)	<input type="checkbox"/>
(7)	<input type="checkbox"/>

問六 次の書き出しで始まる文学作品の名前を後から選び、記号で

答えなさい。

- (1) 春はあけぼの。やうやうしろくなりゆくやまぎはすこしあかりて、むらさきだちたる雲のほそくたなびきたる。
 (2) ある日の暮方の事である。一人の下人が羅生門の下で雨やみを待っていた。
 (3) 親譲りの無鉄砲で小供の時から損ばかりしている。
 (4) メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。
 (5) 「ではみなさんは、そういうふうにならぬと云われたり、乳の流れたあとだと云われたりしていたこのぼんやりとしろいものがほんとうは何かご承知ですか。」

(1)	<input type="checkbox"/>
(2)	<input type="checkbox"/>
(3)	<input type="checkbox"/>
(4)	<input type="checkbox"/>
(5)	<input type="checkbox"/>

- ア 源氏物語 イ 枕草子 ウ 土佐日記
 エ 羅生門 オ 高瀬舟 カ 銀河鉄道の夜
 キ 坊っちゃん ク 走れメロス

★ 実戦問題

□問一 次の作品の作者名を後のア～ケから選び、それぞれ記号で答

- | | | | | | |
|-----|--------|-----|-------|-----|---------|
| キ | 川端康成 | ク | 清少納言 | ケ | 森鷗外 |
| エ | 太宰治 | オ | 兼好法師 | カ | 芥川龍之介 |
| ア | 松尾芭蕉 | イ | 夏目漱石 | ウ | 紫式部 |
| (7) | トロツコ | (8) | 走れメロス | (9) | 伊豆の踊子 |
| (4) | おくのほそ道 | (5) | 舞姫 | (6) | 吾輩は猫である |
| (1) | 枕草子 | (2) | 源氏物語 | (3) | 徒然草 |

□問二 次の作者の作品名を後のア～ケから選び、それぞれ記号で答

- | | | | | | |
|-----|------|-----|-------|-----|-------|
| キ | 智恵子抄 | ク | 一握の砂 | ケ | 夜明け前 |
| エ | 金閣寺 | オ | 一房の葡萄 | カ | たけくらべ |
| ア | みだれ髪 | イ | 風の又三郎 | ウ | 小僧の神様 |
| (7) | 宮沢賢治 | (8) | 島崎藤村 | (9) | 三島由紀夫 |
| (4) | 志賀直哉 | (5) | 高村光太郎 | (6) | 石川啄木 |
| (1) | 樋口一葉 | (2) | 与謝野晶子 | (3) | 有島武郎 |

□問三 次の文章は、ある文学作品の書き出しの部分です。それぞれの作品名と作者名の組み合わせとしてふさわしいものを、後のア～ウから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。
 (2) 親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。
 (3) ある日のことでございます。御釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶら御歩きになつていらつしやいました。
- ア 『羅生門』—夏目漱石 イ 『方丈記』—鴨長明
 ウ 『蜘蛛の糸』—芥川龍之介 エ 『平家物語』—鴨長明
 オ 『坊っちゃん』—夏目漱石 カ 『こころ』—芥川龍之介

□問四 次の短歌と俳句の□にあてはまる言葉を後のア～ウから選び、記号で答えなさい。

- (1) 金色のちひさき鳥のかたちして□ちるなり夕日の岡に
 与謝野晶子

- (2) 古池や□飛びこむ水の音
 松尾芭蕉
- ア 光 イ 蜻蛉 ウ 銀杏 エ 松葉 オ 蛙

□問五 次のア～エの俳句のうち季節が異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 山は暮れて野は黄昏の芒かな
 与謝蕪村
- イ 名月をとつてくれると泣く子かな
 小林一茶
- ウ 柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺
 正岡子規
- エ 梅一輪一輪ほどの暖かさ
 服部嵐雪